


項 目	設 定 内 容 (—は工場出荷時の設定)
省電力/表示設定	
無操作節電 電源入状態で本機を使わないとき、一定時間後に電源が自動的に切れる設定をします。	入 切 ● “入”にすると、停止中に無操作状態が連続約30分続くと電源が切れます。
本体表示部調整 本体表示部の点灯/消灯の設定をします。	常時オン 常時オフ 電源連動 ● “電源連動”にすると、電源入時は点灯し、電源切時は消灯します。
動作状態表示 画面上の動作状態表示の入/切の設定をします。	入 切
スクリーンセーバー 長時間同じ画面が続いたときに、スクリーンセーバー画面を表示してテレビ画面の焼き付きを防止します。	入 切 ● “入”にすると、無操作状態や一覧画面などの表示が連続約15分続いたとき(音楽用CDを除く)などに、スクリーンセーバーが表示されます。 ☞ スクリーンセーバーを解除するときは、スクリーンセーバー表示中に本体またはリモコンの何らかのボタンを押します。([電源]、[トレイ開/閉]、[再生] ボタンを押したときは、スクリーンセーバー解除後、押したボタンの動作が実行されます。)
高速起動設定 本機の起動時間(本機の電源が入になってから使用可能になるまでの時間)を高速化します。 ● “リンク機器制御”を“する”に設定して本機とテレビとの間でREALINK(リアリンク)機能が有効な場合は、自動的に設定が“入”になります。	※ “リンク機器制御”を“しない”に設定している場合にだけ、設定できます。 入 … 高速起動するとき。 切 … 高速起動しないとき。 ● “入”にすると、内部の制御部が通電状態になるため、“切”のときと比較して待機時消費電力(電源切のときの消費電力)が増えます。
瞬間電源オン設定 瞬間電源オンを設定した時間帯の間、本機が瞬間電源オン状態となり、すぐに起動できるように待機します。 ● “リンク機器制御”を“する”に設定して本機とテレビとの間でREALINK(リアリンク)機能が有効で、テレビの電源が入の場合に、すぐに起動できます。	※ “高速起動設定”を“入”に設定している場合にだけ、設定できます。 学習のみ 早朝(AM6:00～AM9:00)+学習 昼間(AM11:00～PM2:00)+学習 夕方(PM4:00～PM7:00)+学習 夜間(PM7:00～PM10:00)+学習 夜間(PM10:00～AM1:00)+学習 切 … 常時、瞬間電源オン状態にしないとき。 ● “学習のみ”は、使用履歴より頻度の高い時間帯を推定し、自動的に瞬間電源オン状態に設定します。(個別設定時間も含め、最大6時間まで) ● 長期間使用されない場合、使用履歴は消去され、学習機能ははたらない場合があります。 ● “瞬間電源オン状態の場合、待機時消費電力(電源切のときの消費電力)が増えます。

接続テレビ設定 (p.157の補足説明もごらんください)

HDMI/D端子優先設定 本機のHDMI端子/D映像端子から出力される信号の解像度の設定を、HDMI/D映像端子のどちらの設定で出力するかを設定します。	※ 本機とテレビをHDMI端子またはD映像端子でつないでいる場合だけ、設定が必要です。 HDMI解像度優先 …… “HDMI解像度設定”の設定で出力するとき。 D端子解像度優先 …… “D端子解像度設定”の設定で出力するとき。
テレビ画面選択 標準テレビ(4:3)やワイドテレビ(16:9)で、ワイド映像(16:9)を見るときの設定をします。 4:3 レターボックス 4:3 パンスキャン 16:9 	4:3レターボックス … 標準テレビでワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱい映して上下方向に帯を付けるとき。 4:3パンスキャン … 標準テレビでワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱい映して左右方向をカットするとき。 16:9 …… ワイドテレビで見るとき。 ● ワイドテレビ(16:9)と接続する場合、“4:3パンスキャン”は左右に拡大して表示されます。

項目	設定内容 (―は工場出荷時の設定)
接続テレビ設定(つづき) (p.157の補足説明もごらんください)	
D端子解像度設定 本機とつないでいるテレビのD映像端子に合わせて、本機のD映像出力端子の設定をします。	※ テレビとD映像端子でつないでいる場合だけ、設定が必要です。 D1 D2 <u>D3</u> D4 <input type="checkbox"/> 映像が正常に映らない(設定が合っていない)場合は、本体の[らく楽モード]と[チャンネル 入]ボタンを同時に4秒以上押し続けると、設定が“D1”になり、映るようになります。 ● 標準テレビ(4:3)とD映像端子で接続する場合は、“D端子解像度設定”を“D1”または“D2”に設定してください。 ● “D4”に設定した場合、720pの映像以外は1080iで出力されます。
HDMI解像度設定 本機のHDMI出力端子から出力される映像の解像度を設定します。	※ テレビとHDMI端子でつないでいる場合だけ、設定が必要です。 自動 480p 1080i 720p 1080p ● “720p”に設定した場合、720pの映像以外は1080iで出力されます。
Deep Color出力設定 HDMI出力端子からの映像信号の色深度(Deep Color)を設定します。	※ テレビとHDMI端子でつないでいる場合だけ、設定できます。 入 …… Deep Colorモード(色深度 12 bit)で出力されます。 切 …… 通常モード(色深度 8 bit)で出力されます。 ● Deep Color非対応のテレビと接続しているときは、この設定にかかわらず“切”で出力されます。
24p出力設定 映画など24コマ/秒で記録された素材を24pで出力するかどうかの設定をします。	※ 24pに対応したテレビとHDMI端子でつないでいる場合だけ、設定できます。 ※ “HDMI解像度設定”を“自動”、“1080i”、“1080p”に設定している場合だけ、有効となります。 入 …… 24コマ/秒で記録された素材をそのまま24pで出力するとき。 切 …… 素材にかかわらず60コマ/秒で出力するとき。 <input type="checkbox"/> 設定を“入”にするとHDMI端子以外の端子からは正常に出力されない(映像が正常に映らない)場合があります。この場合は、設定を“切”にしてください。
リンク機器制御 p.166 当社のREALINK(リアリンク)対応テレビでREALINK機能を使うかどうかの設定をします。	する …… REALINK(リアリンク)機能を有効にするとき。 しない …… REALINK(リアリンク)機能を無効にするとき。 ● p.27 ราว ราว 設定でREALINK機能を有効にするかどうかを選んだときは、設定が自動的に切り換わります。
テレビ連動オフ設定 本機の電源を切るとテレビの電源も連動して切るかどうかの設定をします。	※ “リンク機器制御”を“する”に設定して、本機とREALINK(リアリンク)対応テレビとの間でREALINK機能が有効な場合にだけ、設定できます。 入 切 ● “入”にすると、本機の電源切に連動してテレビの電源も切れます。
3D方式設定 接続する3D対応テレビの方式に合わせて設定します。	フルHD サイドバイサイド チェッカーボード <input type="checkbox"/> “サイドバイサイド”、“チェッカーボード”は、当社レーザーテレビ75-LT1と接続した場合にのみ、お使いください。
3D表示時の注意表示 3D映像表示時に、3D視聴の注意画面を表示するかどうかの設定をします。	入 切 ● “入”にすると、3D視聴の注意画面を表示します。

時刻設定 p.35 (デジタル放送を受信できるときは時刻を自動修正しますので、この設定は不要です)

本機の時計を手動で設定します。

各部

準備(接続)

準備(設定)

テレビ放送

メディア

録る

見る

消編集

取り残込

便利機能

安全注意

仕様

困ったとき